

# 研究実施のお知らせ

2024年5月13日 ver.1.0

## 研究課題名

変形性膝関節症に対する単顆型人工関節置換術と高位脛骨骨切り術  
-より適切な術式選択を目指した患者満足度の後方視的調査-

## 研究の対象となる方

2019年4月から2023年4月の間に島根大学医学部附属病院で変形性膝関節症に対して、単顆型人工関節置換術あるいは高位脛骨骨切り術を受けられた方

## 研究の目的・意義

日本国内には現在約1000万人の変形性膝関節症の方がおられると想定されています。進行した変形性膝関節症には手術が適応となりますが、膝関節の機能が比較的維持されている方には2通りの手術方法があります。1つは膝関節を部分的に人工関節に置換する、単顆型人工関節置換術（UKA）であり、もう一方は人工関節は使用せずに、O脚変形を骨切りで矯正して痛みを和らげる手術である高位脛骨骨切り術（HTO）です。これら2つの方法はどちらも優れた手術法ですが、それぞれの長所と短所があり、どちらを選択すれば患者さんにとって最良の満足度が得られるかについてはまだ議論があります。

本研究の目的は当院で実施した2つの手術の術後患者満足度を比較して、それらに影響を与える因子を調査をすることで、どういった患者さんに、どちらの手術が向いているかを明確にし、適切な術式選択を行えるようにすることです。

## 研究の方法

通常の診療で必須な情報としてカルテに記録されている情報（臨床スコア、年齢、性別、身長、体重、BMI、病歴、活動度、身体診察所見、単純X線像、CT、MRI、手術合併症）を使用します。術前と術後1年時点での患者満足度とこれらの因子との間の相関を多変量解析を用いて調査します。UKAとHTOそれぞれで臨床成績を向上あるいは低下させる要因は異なっていると予想しており、結果は適切な術式選択の材料になると予想しています。収集したデータは、島根大学医学部整形外科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管し外部への持ち出しは行いません。研究対象者の個人情報、個人情報保護の観点から氏名、患者IDを削除した上で取り扱います。研究対象者の識別は研究用に付与する識別番号によって行います。

## 研究の期間

2024年7月4日～2025年3月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。  
その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座 多久和 紘志

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座 多久和 紘志

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2242 FAX 0853-20-2236